

「皆さんに育てられ、培ってきた すべてを発揮して国政に挑む」

福田明市 衆院選へ



日本共産党
北茨城市委員会
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行
市議団ニュース

ご相談は
お気軽に

市議会議員
福田 明
43-0468
市議会議員
鈴木やす子
42-2462

日本共産党茨城県委員会が発表

日本共産党茨城県委員会は、次期の衆議院選挙の小選挙区・茨城5区（北茨城市・高萩市・日立市）から福田明・北茨城市議（茨城県北部地区委員長）を候補者として擁立することを決定しました。

福田明市議は次のように決意を語っています。「26才で市議に初当選以



来、8期約30年間、市民の暮らしを守るために全力をつくしてきました。

今日の閉塞感や格差と貧困の広がりや根底には、長年にわたって続いた『大企業中心』と『アメリカ的いなり』という日本社会の異常があります。この2つの異常にメスを入れて打開しなければ、国民のいのち

と平和を守り、希望ある社会を築くことができなさと確信しています。市議として市民の皆さんに育てられ、培ってきたすべてを発揮して全力で国政に挑みます。」

なお来年3月におこなわれる市議選には、福田市議にかわる新人候補を擁立して、現職の鈴木やす子市議とともに現有2議席の確保をめざして全力をつくします。

「小さくも輝く自治体フォーラム」 地元資源を多業種の連携で活かす

in
北海道東川町

「第17回全国小さくも輝く自治体フォーラム」が5月26、27日、北海道東川町で開催されました。参加した鈴木やす子議員のレポートです。

このフォーラムは、自治体合併が強行されるなか、2003年にスタートしました。国土の7割を占める町村が農林漁業国民の生存、環境と文化を支えてきたことの自負のもと、住民生活をまもるための経験を学びあうものです。長野県栄村で開かれた第一回には私も参

加しました。今回、初めて北海道での開催。会場の東川町は、私のふるさと旭川市の隣に位置しています。大雪山連峰の景観も生かし、「写真の町」を宣言して30年ちかく、ユニークなまちづくりをすすめています。



「君の椅子プロジェクト」

同町の子育て支援が注目されていますが、その拠点となっている町立の幼保一元化の施設の責任者が高校時代の親友で、思わぬ再会も果たせました。町で生まれた子どもたちに特産の木製品を贈る「君の椅子プロジェクト」からつながったのが「3・11」に生まれた東北

の子どもたちに椅子を送る取り組み。ご存じの方もいるかもしれません。北海道では、間伐材などを生かして木質エネルギーの開発に取り組んでいる自治体が多くなっています。身近な資源を多業種が一体となって活かす試みです。現地視察した道北の下川町では、循環型の森林経営をすすめてきました。林地残材をエネルギーに生かそうと、温泉施設の燃料や役所庁舎の暖房に使っています。これまで地域外から購入していた石油代が地域内でまわり、経費節減にもつながるとのこと。また、炭

加工や燻煙を生かしての木製品の開発・販売など、山の資源を生かす姿勢にも、これからの社会のありかたを学びました。今回、福島県大玉村の村長さんが参加していました。放射能で汚染された林野をどう活かしているのか熱心に質問されているようすが心に残りました。フォーラム最後に各首長が「小さいからこそ輝く」と発言していたのが印象的で、自分たちの足もとの資源をどう見つけ生かしていくのか、たくさんヒントを得てきました。



解禁アユ

6月1日、大北川の石岡橋付近